

第三章

自治体における家庭系廃食油回収・リサイクル の実態及び方法の調査方法

第三章 自治体における家庭系廃食油の回収・リサイクルの実態及び方法の調査方法

3-1 はじめに

この章では、本研究における調査方法を述べる。

3-2 調査対象

本研究では家庭系廃食油の回収・リサイクルを行っている自治体を対象とする。

3-3 調査の流れ

3-3-1 対象地の選定

対象の選定は、環境省・農林水産省など国の機関に問い合わせたところ、家庭系廃食油の回収を行っている自治体を把握しておらず家庭系廃食油を回収している自治体全体を把握することができなかった。そのために、先行研究や、独自に家庭系廃食油回収実施自治体を調査しているところから家庭系廃食油回収実施自治体を調査して対象とすることとした。自治体を調査対象として選んだ理由は家庭系廃食油回収量を基準として分析を行うにあたり家庭系廃食油と事業系廃食油の回収量の按分ができるという条件を満たすためである。調査対象となる自治体は、天ぷら油回収マップ¹⁾に掲載されている自治体及び、中島・辻の先行研究²⁾を参考とした。両者から全ての自治体を抽出し、その結果 109 自治体を調査対象とした。

3-3-2 調査対象地

アンケートで協力が得られた 76 自治体名を表 3-1 に示す。

表 3-1 アンケート回答自治体名

自治体名						
愛知県稲沢市	鹿児島県屋久島町	京都市	島根県出雲市	長野県長野市	北海道旭川市	山形県村山市
愛知県春日井市	神奈川県伊勢原市	熊本県天草市	島根県松江市	長野県箕輪町	北海道様似町	山口県岩国市
愛知県江南市	神奈川県鎌倉市	群馬県伊勢崎市	徳島県徳島市	奈良県平群町	北海道苫小牧市	山梨県甲府市
愛知県碧南市	神奈川県相模原市	埼玉県北本市	鳥取県倉吉市	新潟県糸魚川市	北海道羽幌町	山梨県北杜市
秋田県小坂町	神奈川県寒川町	埼玉県新座市	鳥取県境港市	新潟県上越市	北海道留萌市	
秋田県能代市	神奈川県藤沢市	佐賀県みやき町	富山県富山市	新潟県十日町市	三重県伊賀市	
茨城県石岡市	神奈川県大和市	滋賀県安土町	富山県南砺市	新潟県新潟市	三重県いなべ市	
岩手県紫波町	岐阜県恵那市	滋賀県湖南市	富山県氷見市	兵庫県伊丹市	三重県熊野市	
大分県別府市	岐阜県大垣市	滋賀県守山市	長野県伊那市	福井県池田町	宮城県角田市	
沖縄県那覇市	岐阜県郡上市	滋賀県野洲市	長野県駒ヶ根市	福井県鯖江市	宮城県名取市	
香川県宇多津町	岐阜県坂祝市	静岡県藤枝市	長野県塩尻市	福岡県大木町	山形県河北町	
鹿児島県大崎町	岐阜県羽島市	静岡県焼津市	長野県須坂市	福島県北塩原村	山形県酒田市	

3-3-3 電話調査

抽出した 109 自治体に対し，平成 20 年 5～7 月にアンケートのための予備調査として電話調査を行った．電話調査ではアンケートの依頼と回収についてきちんと把握しているかを調査し，家庭系廃食油の回収実施主体や回収開始時期，およその年間家庭系廃食油回収量について尋ねた．

3-3-4 アンケート票の送付

3-3-3 で承諾を得た 94 自治体にアンケートを送付した（平成 20 年 9 月 1 日に送付し，返信期限を平成 20 年 9 月 30 日とした）．

3-3-5 追加調査

アンケートで，特徴的なデータが見られた自治体や，回答内容に矛盾が生じた自治体，回答があいまいな自治体に対して追加調査及び回答内容の確認を行った（平成 20 年 11 月 18 日送付し，返信期日を 12 月 3 日とした）．追加調査では新たな情報を得るために行ったものではないため，内容は割愛する．

3-4 アンケート調査

3-4-1 調査目的

調査目的は全国の自治体における家庭系廃食油の回収・リサイクルの実態把握と全国の自治体における家庭系廃食油の回収・リサイクル方法を比較評価することである．

3-4-2 アンケート調査の方法

3-3-3 で承諾を得た 94 自治体に対し，調査票を郵送・電子メール・FAX によって送付し回収を行った．

3-4-3 調査期間

平成 20 年 9 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日

3-4-4 回収数・回収率

94 件の送付に対し，76 件の返信があった（回収率 80%）．

3-4-5 アンケート調査項目

アンケートの項目および内容を表 3-2 に示す．

表 3-2 アンケート内容と項目ごとの有効回答数

設問	内容	回答方法	有効回答数
1	家庭系廃食油回収の経緯		
1 1	回収開始・モデル回収開始時期	記述式	(n=69) (n=25)
1 2	回収地域変更時期・変更地域数	記述式	(n=30)
1 3	回収地域総人口	記述式	(n=74)
1 4	回収開始理由	選択式(複数回答可)	(n=76)
1 5	有識者の存在	記述式	(n=5)
1 6	開始にあたる参考事例	記述式	(n=40)
2	廃食油の回収方法		
2 1	廃食油の出し方	選択式(択一式)	(n=76)
2 2	回収拠点数・回収時間	記述式	(n=76)
2 3	回収主体	選択式(択一式)	(n=76)
2 4	回収頻度	記述式	(n=62)
2 5	廃食油と回収しているもの	選択式(複数回答可)	(n=76)
2 6	ごみの分別数	記述式	(n=73)
3	リサイクル方法		
3 1	回収量	記述式	(n=76)
3 2	リサイクル量	記述式	(n=41)
3 3	精製量	記述式	(n=27)
3 4	リサイクル用途	選択式(複数回答可)	(n=75)
3 5	リサイクル精製量の割合	記述式	(n=7)
3 6	BDF利用をしない理由	選択式(択一式)	(n=18)
3 7	BDF利用意志	選択式(択一式)	(n=16)
3 8	BDF利用車体	選択式(複数回答可)	(n=55)
3 9	BDF利用時の純度	記述式	(n=51)
3 10	リサイクル上限	記述式	(n=44)
3 11	廃食油の処理方法	選択式(択一式)	(n=76)
3 12	回収方法未変更理由	記述式	(n=56)
4	廃食油の回収とリサイクル方法についての変更点		
4 1	回収・リサイクル方法変更について	記述式	(n=19) (n=12)
5	廃食油の回収及びリサイクル運営費用		
5 1	トラブルの有無	記述式	(n=76)
5 2	住民への周知・啓発	選択式(複数回答可)	(n=76)
5 3	回収・リサイクル運営費用	記述式	(n=52)

<参考文献>

1) てんぷら油回収マップ

< <http://fukup.info/tempura/index.html> > , 2008-5-10

2) 中島正道, 辻雅司: 廃食油燃料化の現状と課題 - 生物資源系エネルギー利用促進についての考察 - , 人間科学研究, (4), 1-24 (2007)